

岩切正一郎(いわきりしょういちろう)

国際基督教大学学長。文学修士(東京大学)。DEA(パリ大学)。東京大学助手を経て、96、国際基督教大学。アドミッションズ・センター長、教養学部長を経て、20、現職。専門はフランス文学。

西原 廉太(にしはら けんた)

立教大学総長。京都大学工学部卒業。立教大学大学院文学研究科組織神学専攻修了。博士(神学)。キリスト教学校教育同盟理事長。21より現職。主著『聖公会の職制論』。

杉本 仁嗣(すぎもと ひとし)

関西大学学事局教育開発支援室・教養IR室グループ長。関西大学経済学部卒業。'92学校法人関西大学入職。文学部事務室等を経て、20東京センター事務長に赴任。'23 4月より現職。

木村 勝(きむら まさる)

学校法人関西学院東京丸の内キャンパス課長。関西学院大学社会学部卒業。'92株式会社三越入社後、本店婦人洋品、人事担当を経て、'08学校法人関西学院入職。現在に至る。

古谷 銀次郎(ふるたに ぎんじろう)

厚生労働省神奈川労働局就職支援コーディネーター。慶應義塾大学商学部卒業。'23 3月まで甲南大学ネットワークキャンパス

東京事務所所長を務める。

鈴木 真木子(すずき まきこ)

松山大学東京オフィス長。松山大学経済学部卒業後、民間企業を経て、'09松山大学入職。財務、経営企画、キャリアセンター、教務を経て現職。

江津 英昭(えつひで あき)

明治大学教務事務部政治経済学部事務長。明治大学文学部卒業。同大学広報課、商学部事務室等を経て、'20経営企画部広報課長、'23 4月より現職。

児美川 孝一郎(こみかわ こういちろう)

法政大学キャリアデザイン学部教授。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。日本教育学会理事。著書に『キャリア教育のウソ』等。

大澤 敏(おおさわ さとし)

金沢工業大学学長、バイオ・化学部応用化学科教授。'91東京理科大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。'04より教授、'16より学長。

川口 誠人(かわぐち まこと)

明治大学就職キャリア支援部長。明治大学

政治経済学部卒業。桜美林大学大学院国際学研究科修士課程修了。修士(大学アドミニストレーション)。

山重 芳子(やましがら よしこ)

成城大学キャリアセンター長・経済学部教授。米国 Johns Hopkins 大学博士課程修了。Ph.D.(Economics)。'19よりセンター長('23 3月現在)。

藤川 昇悟(ふじかわ しょうご)

西南学院大学商学部教授。'02九州大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(経済学)。阪南大学を経て、'16より現職。'21よりキャリアセンター長。

小舘 亮之(こだて あきひさ)

津田塾大学総合政策学部教授。'97早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。早稲田大学、企業等を経て、'05より津田塾大学、'17より現職。

長野 了法(ながの りょうほう)

学校法人武蔵野大学理事長。'73龍谷大学卒。同年学校法人龍谷大学入職、'09総務局長、'11常任理事を務めた。'19学校法人武蔵野大学監事。'20より現職。

芦沢真五(あしざわしんご)

関西国際大学副学長・国際コミュニケーション学部教授。ハーバード大学院卒業(国際教育専攻EDM)。慶應義塾大学、大阪大学、明治大学、東洋大学を経て'22より現職。

鈴木洋(すずきひろし)

芝浦工業大学情報システム部部长。SDコーディネーター。

中妻照雄(なかつまてるお)

慶應義塾大学経済学部教授。

佐藤信行(さとうのぶゆき)

中央大学法務研究科教授・教育力研究開発機構長・副学長。

阪田真(こ)子(さかたまこ)

同志社大学ダイバーシティ研究センター長・文化情報学部長。'22ダイバーシティ推進担当学長補佐。'02神戸大学大学院総合人間科学研究科博士課程修了。博士(学術)。

草薙健太(くさなぎけんた)

中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科准教授・体育会水泳部監督。'10中京大学体育学研究科博士前期課程修了(修士)。'20より現職。

間合絵里(まあいえり)

東京農業大学国際食料情報学部助教。名古屋大学大学院生命農学研究科修士課程修了。'20京都大学大学院博士(農学)取得。京都大学特定助教を経て'21より現職。

堀啓二(ほりけいじ)

共立女子大学建築・デザイン学部長・教授。'82東京藝術大学大学院修士課程修了。芸術学修士。一級建築士。'234月より現職。主書『図解 雨仕舞の名デザイン』など。

織戸光明(おりとこうめい)

学校法人根津育英会武蔵学園事務局長。'73月武蔵大学人文学部卒業、'74月入職。学生生活課長、教務部長、大学事務局長などをを経て'154月より現職。

安食真城(あんじきしんじょう)

龍谷大学宗教部課長。龍谷大学文学部卒業。'14から現職。

高山貞美(たかやまさだみ)

白百合女子大学学長。教皇庁立グレゴリアン大学大学院神学研究科博士課程修了。上智社会福祉専門学校校長、上智大学神学部教授を経て'20同大学名誉教授。同年4月より現職。

観世三郎太(かんぜさぶろうた)

観世流能楽師。二十六世観世宗家・観世清和嫡男。5歳の時に「鞍馬天狗」で初舞台を踏む。'22立教大学法学部を卒業。能楽師として舞台に立ち続ける。

外川智恵(とがわちえ)

大正大学表現学部教授。大正大学文学部卒業。カリフォルニア臨床心理大学院修士課程修了。'92山梨放送入社。「NTT技術ジャーナル」のトップインタビュなどを務める。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

『私立大学ガバナンス・コード』
改訂のお知らせ

『私立大学ガバナンス・コード』について、有識者による第三者チェック及び第226回（令和5年度第3回）総会での会員法人の承認を経て、令和5年3月28日付で改訂いたしました。

当連盟では、各会員法人の遵守状況やこの間の私立大学を取り巻く情勢の変化を踏まえて、本コードの記載内容や運用について検討を重ねてまいりました。今回の改訂は、本コードの理念（基本的な考え方が会員法人に誤解なく浸透するよう主旨を明確化するとともに、公益通報者保護法や個人情報保護法等の、コード策定（令和元年6月）後に改正された法令への対応を中心としたものです。

▼『私立大学ガバナンス・コード』及び

各会員法人のコード遵守状況については、私大連Webサイトよりご覧いただけます。

<https://www.shidairen.or.jp/members/governance/>



会長の動き

● 3月7日(火)

立憲民主党文部科学関係ヒアリングに

出席

理事補欠選考委員会に出席

第12回常務理事会に出席

● 3月17日(金)

衆議院文部科学委員会参考人質疑に出席

● 3月28日(火)

第11回理事会、第3回総会に出席

● 3月29日(水)

日本私立大学団体連合会第126回役員会・第91回総会に出席

● 4月11日(火)

第1回常務理事会、第1回理事会に出席

● 4月26日(水)

経団連「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」に出席

『ポストコロナ時代のオンラインを活用した教育のあり方(中間報告)』を公表

コロナが収束するに伴い、大学は対面を中心とした授業に回帰しつつありますが、その一方で、対面授業のみではなさない、学生の学びを一層進化させるオンライン教育の可能性を模索しています。

中間報告では、オンライン授業の課題として挙げられる双方向性の確保や質保証、評価方法、学内体制の整備等について考察

するとともに、「対面」「オンライン」「オンデマンド」などの「組み合わせ」により、いかに新しい学びをデザインできるか、その可能性をモデルケースとともに提示しました。

今後、通信制と通学制の整理や授業料のあり方等について新たに検討を加え、令和5年度中に最終報告として「ポストコロナ時代の新たな大学教育像」をとりまとめる予定です。

https://www.shidairen.or.jp/topics_details?id=3772



開催報告

● 3月9日(木)

私立学校法改正法案に関する説明会

各資料や開催の概要は、左記の私大連Webサイトをご覧ください。

私大連Webサイトにて
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



私立大学の先進的な取り組みや
高等教育に関する情報誌
奇数月(年6回)刊行

大学時報

University Current Review



Webサイトはこちらから ▶▶▶ <https://daigakujihou.shidairen.or.jp/>

大学時報はPDF版でもご覧いただけます



- [PICK UP!大学時報]で最新記事をスマホやタブレットでチェック
- [バックナンバー]で年度一覧から検索
- [全文検索]でキーワード検索

大学時報Webサイトは、第1号から最新号まで網羅したアーカイブ機能を有しています。ぜひご活用ください。



大学時報バックナンバー



PICK UP!大学時報

座談会 「アントレプレナーシップ教育の現在地」

特集 「私立大学の個性と多様性を表す周年事業」

小特集 「年内入試のこれから」

だいがくのたから 国際武道大学

大学点描 松山大学

クローズアップ・インタビュー

宮崎知子さん(株式会社陣屋 代表取締役 女将、株式会社陣屋コネクト 代表取締役 CEO)

編集後記

◆キャリア教育の根幹である「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」(平成23年1月中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」より)。

この度、特集で紹介した6大学は、様々な工夫を施しながら学生生活4(6)年間におけるキャリア発達を促すべく体系だった制度設計や施策を展開している。

本学のように学外での学修が可能になるようにチーム制を導入という制度設計をしたケース、在学生や卒業生の協力を得ながら各施策を展開しているケースなど、形は異なるが一人一人の学生の自立に向けてキャリア発達を促す取り組みである。

国の政策として始まって久しくなったキャリア教育の全体像を振り返り、これからの時代を担う学生たちが必要としているサポートについて、再考する機会になれば幸いである。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・津田塾大学経営企画課課長五十嵐俊也)

◆デジタル証明書は自分自身の多様な学びの成果を可視化するツールだと思っていたが、本小特集からは、目的を持って学びに取り組みするためのツールでもあることが伝わってくる。例えば、留学を目指す学生がグローバルに関する証明書の取得を目指すことで、自身に必要な科目が明確になり、目的を持って学びに臨むことができるようになる。

まさに主体的な学びを促す仕組みであるが、課題が多いことも痛感する。プラットフォームの共通化や大学全体としての取り組みの推進、企業なども含めた社会全体の理解なども進めていかなければならない。解決しなければならぬ課題は多くあるが、「便利になる」ことを実現した先には、「学びの質向上」を実現することができるということを信じて真摯に取り組みを継続していきたい。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務部多摩事務課課長 須藤智徳)

◆第391号(2020年3月号)以来、対面での座談会開催が実現し

た。コロナ禍の影響は東京拠点の中心的役割に変化をもたらしたが、その変化は大学を取り巻く様々な状況と同様、新たな可能性を示すものとなっている。

クローズアップ・インタビューでは、銀座という喧噪の中にある静謐な観世能楽堂で、観世三郎太さんのお話を伺った。長い伝統と歴史を受け継ぐその姿とお話から、悠久の時の流れを感じる時間となった。

座談会で話題にあがったChatGPTは、座談会開催から1カ月程の間に、メディアを大きく賑わすキーワードとなっている。その存在は、可能性と同時にリスクについても警鐘が鳴らされ、コロナ禍で進展したオンライン化に続いて、大学は新たな岐路に立たされている。

学問には学びの過程で新発見や変化が生じるが、能は既存のものを追求していく世界であることが大きな相違点である、と語られた三郎太さん。伝えるべき基本にそぐわない形はとらないという能の世界と大学・学問の世界は一樣ではないが、今後の展開を注視していきたい。(日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美)

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (123大学 令和5年5月20日現在)

愛知大学	関西大学	南山大学	園田学園女子大学
亜細亜大学	関西学院大学	日本大学	大正大学
青山学院大学	関東学園大学	日本女子大学	拓殖大学
跡見学園女子大学	関東学院大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
梅花女子大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東邦大学
文教大学	恵泉女学園大学	大阪医科薬科大学	東北学院大学
筑紫女学園大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
中京大学	神戸女学院大学	大谷大学	東海大学
中央大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	常磐大学
大東文化大学	皇學館大学	立教大学	東京医療保健大学
獨協大学	國學院大学	立正大学	東京女子大学
獨協医科大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
姫路獨協大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
同志社大学	駒澤大学	龍谷大学	東京国際大学
同志社女子大学	甲南大学	流通科学大学	東京農業大学
フェリス女学院大学	久留米大学	流通経済大学	東京情報大学
福岡大学	共立女子大学	西武文理大学	東京歯科大学
福岡女学院大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋大学
福岡女学院看護大学	京都精華大学	成城大学	東洋英和女学院大学
学習院大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	東洋学園大学
学習院女子大学	九州産業大学	成蹊大学	豊田工業大学
白鷗大学	松山大学	西南学院大学	津田塾大学
阪南大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	和光大学
広島女学院大学	明治大学	清泉女子大学	早稲田大学
広島修道大学	明治学院大学	聖心女子大学	山梨英和大学
法政大学	宮城学院女子大学	専修大学	四日市大学
実践女子大学	桃山学院大学	石巻専修大学	四日市看護医療大学
上智大学	桃山学院教育大学	芝浦工業大学	
城西大学	武蔵大学	白百合女子大学	
城西国際大学	武蔵野大学	仙台白百合女子大学	
順天堂大学	武蔵野美術大学	昭和女子大学	
金沢星稜大学	名古屋学院大学	創価大学	

大学時報 University Current Review

2023/5月号

第72巻410号(通巻423号)

令和5年5月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9
KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学学事局学事センター事務長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
中谷良規(関西学院広報室企画広報課課長)
塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
江津英昭(明治大学教務事務部政治経済学部事務長)
長野香(立教学院広報室長)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学ブランディングセンターセンター長・広報部部长)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
鈴木宏隆(早稲田大学総務室募金担当部長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

